

事務記入欄	: 必ず記入が必要な項目 : 記入情報がない場合でも、項目名(見出し)は表示する	: 記入情報がない場合でも、「特になし」等何らかの記載を必要とする : 記入情報がない場合は、項目名(見出し)も表示しない
-------	---------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

平成26(2014)年度 Syllabus (講義概要・授業計画) 用紙

管理番号 : WU25003180

科目名	ユーラシアの歴史と文化B	サブタイトル	もう一つのヨーロッパ : 中・東欧
対象学部	国際文化学部		
開講曜講時	後期 水4	配当年次	3年次~4年次
開講キャンパス	瀬田	担当者(カナ氏名)	フクダ ヒロシ
単位	2	担当者(漢字氏名)	福田 宏
備考			

講義概要

サブタイトル 【入力属性: 】 【学外公開】	もう一つのヨーロッパ : 中・東欧				
講義概要 【入力属性: 】 【学外公開】	旧社会主義圏の中・東欧諸国が民主化を開始して早くも25年目となる。これらの国々は2004年にEUに加盟し、欧州への「回帰」を果たしたが、昨今の経済危機により大きなダメージを被り、旧西側諸国との格差が再び露わとなってきた。この講義では、主としてチェコ、スロバキア、ポーランド、ハンガリーのいわゆるヴィシエグラード4カ国に着目し、中・東欧がどこに向かうのかについて考えてみたい。				
到達目標 【入力属性: 】 【学外公開】	1. 歴史・文化・地理的条件が似通った4カ国を比較検討することにより、地域研究の視点を養う。 2. 小国の視点からEUを検討することにより、欧州の多様性・複雑性を理解する。 3. 政治経済・歴史・文化の各側面に配慮することにより、中・東欧諸国をより深く理解できるようにする。				
講義方法 【入力属性: 】 【学外公開】	講義形式。毎回プリントを配付する他、プロジェクター等で参考資料を提示する。配布プリントについては、インターネットよりダウンロードできるようにする。				
授業時間外における予・復習等の指示 【入力属性: 】 【学外公開】	価値観が異なる地域を学ぶためには、映画や小説などによって人々の生活が見える「資料」に触れることも必要である。可能であれば、実際にその地域を訪れてみることも良い経験になる。受講に当たっては、授業で配布する文献一覧などを元に、可能な限り広い範囲の「資料」に触れるようにして欲しい。				
系統的履修 【入力属性: 】 【学外公開】					
成績評価の方法 【入力属性: 】 【学外公開】	種別	割合	評価基準・その他備考		
	平常点	20%	出席は必ずしも義務ではないが、各授業の最後に提出していただく感想・コメントについては平常点として考慮する。		
	小テスト				
	レポート				
	定期試験	80%			
	その他				
テキスト 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	自由記載	教科書は特に指定しないが、授業で紹介する文献を図書館で確認し、そこから各自の関心を広げていくようにして欲しい。			
参考文献 【入力属性: 】 【学外公開】	著書・編集者名	書名	出版社名	定価	ISBN
	仙石学, 林忠行編	ポスト社会主義期の政治と経済 : 旧ソ連・中東欧の比較	北海道大学出版会	3,990円	978-4832967403
	森井裕一編	ヨーロッパの政治経済・入門	有斐閣ブックス	2,500円	9784641184022
	トニー・ジャット	ヨーロッパ戦後史(上・下)	みすず書房	6,300円	978-4622073413
自由記載					
履修上の注意・担当者からの一言 【入力属性: 】 【学外公開】					
オフィスアワー・教員との連絡方法 【入力属性: 】	質問については授業後、あるいはメール(hfukuda@cias.kyoto-u.ac.jp)にて受け付ける。				
参考URL 【入力属性: 】	参考URL名	参考URL	参考URL名	参考URL	

科目名	ユーラシアの歴史と文化B	サブタイトル	もう一つのヨーロッパ: 中・東欧
対象学部	国際文化学部		
開講曜講時	後期 水 4	配当年次	3年次~4年次
開講キャンパス	瀬田	担当者(カナ氏名)	フクダ ヒロシ
単位	2	担当者(漢字氏名)	福田 宏
備考			

講義計画

No.	回数 【入力属性: 】 【学外公開】	担当者 【入力属性: 】 【学外公開】	学修内容 【入力属性: 】 【学外公開】	キーワード 【入力属性: 】
1	1回目	福田 宏	はじめに 他の地域を学ぶことの意味	
2	2回目	福田 宏	中欧4カ国の概観 EUにおける模索	
3	3回目	福田 宏	中欧経済とユーロの行方 スロヴァキアの損得勘定	
4	4回目	福田 宏	中欧の小さな原発大国 チェコとスロヴァキア	
5	5回目	福田 宏	1989年革命とは何だったのか? 冷戦の起源から体制転換まで	
6	6回目	福田 宏	バルカンは何故戦わねばならなかったのか 旧ユーゴ紛争	
7	7回目	福田 宏	ロシアの脅威? パイプラインの政治学	
8	8回目	福田 宏	ロマ問題と多文化主義 中東欧のタブー?	
9	9回目	福田 宏	中欧の歴史問題 第二次世界大戦の記憶	
10	10回目	福田 宏	ハプスブルク帝国の遺産と近代	
11	11回目	福田 宏	国民形成と国民楽派 音楽とナショナリズム	
12	12回目	福田 宏	戦間期における民主化の「実験」 「例外」としてのチェコスロヴァキア	
13	13回目	福田 宏	中欧における欧州統合構想 戦間期における国民国家	
14	14回目	福田 宏	環境ビジネスの興隆 欧州は京都議定書で得をしたのか	
15	15回目	福田 宏	おわりに より良き生活を確保するために?	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				